講義名	研究演習Ⅱ
講義コード	45031
担当教員	福岡　寿美子
開講期・曜日・時限	通年 木曜日 ５時限
備考	

ゼミ

全学ゼミ

学部

商学部・経済学部・人間社会学部

学科

経営学科・マーケティング学科・経済学科・経済情報学科・人間社会学科・観光学科・人間健康学科

演習名

福岡寿美子ゼミナール（日本語学・日本語教育学）

概要説明

本演習では日本語学および日本語教育学を中心とした研究演習を行います。
日本語学では、日本語とはどのような言語か、日本語の文字、表記、語彙・意味、音声・音韻、文法、敬語、方言、言語情報、言語行動、言語生活等々について研究します。また、言語と文化は密接な関係にあるので、日本語の特質を研究することによって、日本文化への理解をも深めます。
これらを踏まえ、日本語教育学では、日本語を世界の言語の一つとして捉え、外国語としての日本語を教育することについて研究します。日本人学生にとっては母語である日本語を、留学生にとっては外国語である日本語を共に研究することによって、異なった視点から物事を見、考える力を養います。
また、常に就職のことを念頭におき、就職および将来に役立つビジネス日本語の視点からも研究します。
さらに、日本人学生と留学生が共存することによって、異文化理解、多文化共生のコミュニケーションの観点からも研究を進めます。
そして、２１世紀の多言語・多文化社会における社会人・国際人としての資質を育成することも目標としています。
研究課題は日本語学および日本語教育学、更に、異文化理解、多文化共生のコミュニケーションに関すること等々とします。これらの中から更に、各自関心のあるテーマを選んで研究していきます。
日本語に関するものであれば、敬語について、方言について、若者言葉について、日本語の乱れについて、日本語の変化について、日本語教授法について、言葉と文化について、異文化理解とコミュニケーションについて、多文化共生のコミュニケーションについて等々何でも結構です。

・研究演習Ⅰでは、巷にあふれる問題のある日本語について、『問題な日本語』Vol.1.2.3.4.を基に研究しビジネスに活かします。
また、『日本人の心がわかる日本語』を基に、外国人が分かりにくい日本語について研究し、その背景にある日本人の感じ方や考え方についても研究を深めます。
ピア・ラーニング（Peer Learning）を行います。
・研究演習Ⅱでは、ピア・レスポンス（Peer Response）についての実践や研究を行います。
また、『この１冊できちんと書ける！論文・レポートの基本』を基に、論文の構成や表現についても学びます。
パワーポイントを用いて、口頭発表を行います。
そして、『エスノグラフィー入門〈現場〉を質的研究する』を基に、教育の現場やマーケティングの最前線で欠かせない調査手法となっているエスノグラフィーを中心に、質的研究法について学び、研究を深めます。
さらに、プロジェクト・ワーク（Project Work）によって、教材作成等にも取り組みます。
・卒業研究では、各自でテーマを決めて、卒業論文を作成します。

学位

言語教育修士

教員よりの要望

無断欠席はしないでください。
日本人学生および留学生共に、互いに興味関心をもって仲良くでき、共に助け合って互いを高め合い、共に学び研究できる人を望みます。

教員英字氏名

Fukuoka Sumiko

研究室

5410

最終学歴

姫路獨協大学大学院言語教育研究科言語教育専攻修了

主な研究活動・社会活動・研究業績

＜研究業績＞
・科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）「文章表現における対話的教室活動のデザインと評価基準の構築」平成27年度～29年度　研究成果報告書　課題番号：15K02638
・「学部留学生と日本人学生によるピア・レスポンスの試み―日本事情および異文化交流クラスの場合―」『流通科学大学論集―人間・社会・自然編―』第29 巻第２号 2017年
・「学部留学生と日本人学生によるピア・レスポンスの試み―対話的教室活動の観点から―」『日本語教育論集』第25号 2016年
・科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）「ピア・レスポンスの何が文章の質的向上と評価結果に影響するのか」平成24年度～26年度　研究成果報告書　課題番号：24520598
・「基礎演習クラスにおけるピア・レスポンス活動―日本人学生の場合―」『流通科学大学教学支援センター紀要』第２号 2015年
・「日本語表現科目におけるピア・レスポンス―レポートの分析を中心に―」『日本語教育論集』第23号2014年
・“Peer Response Activity between Exchange and Japanese Students:Focusing on Conversation Analysis”
2013 CAJLE Annual Conference Proceedings
・「日本人学生と交換留学生におけるピア・レスポンス」『流通科学大学高等教育研究センター紀要』第10号 2013年
・「交換留学生と日本人学生による日本事情クラスにおけるポートフォリオの分析」『日本語教育論集』第22号 2013年
・「世界のことばと文化における日本語および日本文化についての基礎研究―自由記述の分析から見えるもの―」『日本語教育論集』第21号 2012年
・「入学前教育について―日本語の事例を通して―」『日本語教育論集』第20号 2011年
・「研究演習クラスにおける学生の変容―日本人学生と中国人留学生の異文化接触を中心に―」『流通科学大学教育高度化推進センター紀要』第４号2008年
・「中国人留学生および日本人学生の異文化接触について―インタビューによ　る質的調査を中心に―」『日本語教育論集』第17号 2008年

主な卒業論文のタイトル

・「中日の茶道の比較―『美学・宗教』を中心に―」
・「京劇と歌舞伎の比較研究」
・「日本文化と中国文化の比較研究―日本の和服と中国の漢服を中心に―」
・「期待される教師像」
・「中国と日本の通信販売についての状況と課題」
・「中日庭園の比較」
・「中国と日本の食文化の相違」
・「日本と中国のショッピングセンターの研究」
・「中国の一人っ子政策について」
・「テーマパークの研究」
・「中国人留学生と日本」
・「留学生の生活体験から見た現代日本社会」
・「中華料理の再発見」
・「パワースポット研究」
・「日本における接客サービスの特徴」
・「携帯電話が与える社会への影響」
・「アイドルがもたらす経済効果」
・「オタク文化における経済効果への考察」

趣味・特技

絵（パステル画・水彩画・油絵等）を描いたり、美術鑑賞をするのが好きです。若かりし頃の夢は絵本作家になることでした。学芸員の資格を生かすべく、美術館で２０数年文化ボランティアをしていました。最近は忙しくて、ほとんど絵を描く機会もありませんが、また、時間を見つけてアトリエに通えたらと、ささやかな期待を抱いています。
ピアノを弾いたり、音楽鑑賞をすることにも興味があります。子供のとき以来、大人のピアノとしてレッスンを再開していましたが、今は忙しくて中断していま

所属

商学部商学科

所属学会

日本語教育学会、日本語学会、小出記念日本語教育研究会、日本質的心理学会、日本リメディアル教育学会

専門分野

言語学、日本語学、日本語教育学

選考方法

研究演習申込書および面接によって選考します。
必ず事前に個別ガイダンスを受けてください。

３年次のゼミ所属変更の際もこれに準じます。

担当科目

自己発見とキャリア開発、日本語Ｂ、日本語C、日本事情D／異文化交流、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、卒業研究

備考

＜先輩ゼミ生から後輩たちへのメッセージ＞

評価方法

演習での発表および提出課題、出席状況、平常点等による総合評価を行います。